建物賃貸借契約書

貸主○○　○○（以下「甲」という。）と借主○○　○○（以下「乙」という。）は、次の物件（以下「本物件」という。）について、次のとおり賃貸借契約を結ぶ。

物件	
使用目的	
賃料	月額金　　円
支払日	毎月　　日までに翌月分を支払う
契約期間	年　　月　　日から　　年　　月　　日まで
敷金	金　　円

1. 甲は本物件を乙に賃貸し、乙はこれを借り受ける。乙は本物件を前記の使用目的のためだけに使う。
2. 乙は、毎月　　日までに翌月分の賃料を、甲の指定する次の口座に振り込んで支払う。振込手数料は乙の負担とする。1か月に満たない月の賃料は日割りで計算する。（　　銀行　　支店　普通　　）
3. 甲又は乙が契約期間の満了の6か月前までに相手方に更新しない旨を書面で通知しないときは、この契約は同じ条件で1年間更新され、その後も同様とする。
4. 乙は、この契約から生じる債務の担保として、前記の敷金を甲に預け入れる。甲は、この契約が終了して本物件の返還を受けたときに、未払いの賃料などを差し引いた残額を乙に返す。敷金には利息を付けない。
5. 乙は、甲の書面による承諾なしに、本物件を第三者に転貸し、又は賃借権を譲り渡してはならない。
6. 乙は、甲の書面による承諾なしに、本物件の造作を新しく設け、又は変えてはならない。
7. 乙は、　か月前までに甲に書面で通知して、この契約を解約することができる。甲からの解約と更新の拒絶は、借地借家法の定めによる。
8. 乙が賃料の支払を2か月分以上怠り、甲が相当の期間を定めて催告してもその期間内に支払わないときは、甲はこの契約を解除することができる。
9. この契約が終了したときは、乙は本物件を元の状態に戻して明け渡す。ただし、通常の使用によって生じた損耗と年数による変化は除く。
0. この契約に定めのない事項は、甲と乙が誠意をもって協議して決める。

この契約の成立を証するため本書2通を作成し、甲と乙が署名押印のうえ、各1通を保有する。

年　　月　　日

甲（貸主）

住所

氏名（名称）　　印

乙（借主）

住所

氏名（名称）　　印